

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 1 回	権利擁護部会	
日時	令和 5 年 5 月 15 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 6 名	市職員 3 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	① 自己紹介		
	② 部会長・副部会長選出		
	③ 前回の振り返り		
	④ 今年度の取り組み内容について		
	⑤ お買い物サポートカードについて		
	⑥ その他		
主な意見	1 自己紹介 自己紹介を行う。		
	2 部会長・副部会長選出 部会長はポレポレ大嶋さん、副部会長は愛歩興梧さんが選出される。		
	3 前回の振り返り ・ 障害者虐待防止勉強会の振り返り ・ お買い物サポートカードについて ・ 来年度に向けて ・ その他		
	4 今年度の取り組み内容について ・ 資料 2 をもとに勉強会開催時期の確認をする。		

○成年後見制度勉強会について

<対象>

- ・R3、4年度のアンケートをもとに対象者について検討する。
- ・R3年度は市民向け、R4年度は支援者向けで開催。R4年度は同時期にあすライツが市民向けで開催していたため、部会では支援者向けで開催した。
- ・今年度のあすライツの勉強会日程について。7月に支援者向け、9月に日進市で市民向け勉強会を開催予定。
- ・今年度は支援者向けに開催することで決定する。

<開催方法について>

- ・昨年度の感想の中で、グループワークや事例検討があるとより理解が深まるという話が出ていた。
- ・7月の部会で講演内容、タイトルを決定できるように進める。
- ・市民後見人からの話も聞きたいという意見が出ていた。前年度同様、講師は住田さんに依頼し、あすライツに相談しながら進めていけるとよい。
- ・グループワークを行う場合、場所は市民会館展示ホールか会議室（定員約20～30人）、または中央福祉センターで実施する。
- ・事業所は平日夕方出席しやすい。
- ・中央福祉センターは人数制限なし。定員300人。コロナワクチンが始まると使用できない可能性はある。
- ・参加方法は現地のみか、オンラインも可とするのか。→グループワークを行う場合は、現地参加の方が進めやすい。
- ・中央福祉センターの空き状況を確認して日程を決めていく。

5 お買い物サポートカードについて

- ・資料4をもとに進める。

<コンビニ>

- ・コンビニ周知途中。
- ・ファミリーマート：独自で作成した簡易版がレジに設置してあるが、含まれていない項目もあるため設置依頼し、了承を得ている。
- ・コンビニからの意見として、①支援が必要な人がどなたかわからない。②学生などアルバイトにとっては、サポートカードがあると対応しやすくなるかもしれない。当事者の方に周知ができていない。設置店舗の周知する方法を検討する必要がある。
- ・コンビニは「耳マーク」のステッカーが目印になっている。
- ・セブンイレブン：統括長の連絡先を確認中。配布方法についても確認中。
- ・ミニストップ：日程調整をして訪問予定。

<ドラッグストア・スーパー>

- ・別紙参照。

○当事者への周知について

- ・ステッカーを作った方がいいか。HPに掲載していくか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者がサポートカードの設置状況を知らない方が多い。当事者にどのように周知していくかも検討する必要がある。 ・店舗に周知のために店名を出すことの許可は得ていない。 ・ステッカーを作る前に、配布した店舗に貼ってもらえるかどうかを確認した方がいい。 ・HP にステッカーが貼ってある店舗は協力店として記載してはどうか。 <p>ステッカー作成にあたり、デザインはどうするか。学生に依頼するか。→文字だけでもいいのでは。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・半年後、使用した感想や意見を伺う予定。構想は作っておき、再度伺う際にステッカーを貼ってもらえるかどうか確認してもいいのでは。 ・ステッカー案を次回検討する。 <p>○その他の活用方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗配布だけでは余る。 ・当初は HP に掲載して各自で印刷して持ち運んでもらう予定にしていたが、当事者の方に A4 サイズを配布してもいいのでは。 ・事業所に配布してはどうか。子ども向けの事業所に、買い物の練習時に活用できるのではないか。 ・外出支援をする時に使用するなど。 ・事業所に設置し自由に持って行ってもらってもいい。不要な項目は消して、使える項目だけで使用してもらうことも可能。 ・事業所への配布は各 5 部ずつ？ →HP に掲載し、足りなければ印刷してもらえばいいのでは。 <p>6 その他 資料 5 をもとに開催日程について確認する。</p>												
今回確認事項	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="403 1355 459 1444">①</td> <td data-bbox="459 1355 1431 1444">自己紹介</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1444 459 1534">②</td> <td data-bbox="459 1444 1431 1534">部会長・副部会長選出</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1534 459 1624">③</td> <td data-bbox="459 1534 1431 1624">前回の振り返り</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1624 459 1713">④</td> <td data-bbox="459 1624 1431 1713">今年度の取り組み内容について</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1713 459 1803">⑤</td> <td data-bbox="459 1713 1431 1803">お買い物サポートカードについて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="403 1803 459 1883">⑥</td> <td data-bbox="459 1803 1431 1883">その他</td> </tr> </table>	①	自己紹介	②	部会長・副部会長選出	③	前回の振り返り	④	今年度の取り組み内容について	⑤	お買い物サポートカードについて	⑥	その他
①	自己紹介												
②	部会長・副部会長選出												
③	前回の振り返り												
④	今年度の取り組み内容について												
⑤	お買い物サポートカードについて												
⑥	その他												

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 1 回	権利擁護部会
日 時	令和 5 年 5 月 15 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 大嶋 翔太	吉澤 洵 (欠)
② 山田 達己	
③ 興梠 精視	
④ 鈴木 万由子 (欠)	
⑤ 高木 祥行 (欠)	
⑥ 眞柄 文子 (欠)	
⑦ 杉浦 文雄	
⑧ 鈴木 重行 (欠)	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 小倉 懸自
③ 渥美 則親	④

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 山 歩美	④ 桂川 斐斗美

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 2 回	権利擁護部会	
日時	令和 5 年 7 月 19 日 (水) 10 時 30 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8 名	市職員 2 名	事務局 3 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② お買い物サポートカードについて		
	③ 成年後見制度勉強会について		
	④ 虐待防止法勉強会について		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己紹介 ・ 部会長・副部会長選出 ・ 前回の振り返り ・ 今年度の取り組み内容について ・ お買い物サポートカードについて ・ その他 <p>2 お買い物サポートカードについて</p> <p>【当事者の方への周知の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者団体連絡会へ周知予定。 ・ 聴覚障害者協会へは依頼中。 ・ 社協 HP は準備中。サポートカードを各自でダウンロードできるように載せる。 ・ 当事者の方がサポートカードの存在を知らない現状。広報などに掲載していくことが最優先。 ・ スーパー、ドラッグストア→HP に掲載する際に、取扱店舗とし 		

て名前を挙げることのできることは得ていない。コンビニは了承を得ている店舗もある。

- ・店舗から許可が得られれば、協力店舗の名前を HP 等に記載していく。

→店舗名を挙げることについては、コンビニの場合、オーナー判断。十分な対応できるかわからないとのことで店名を挙げることに躊躇される店舗もある。

【ステッカー作成について】

- ・広報に記載するだけでは全体への周知は難しい。お買い物サポートカード設置店舗を明確にするためステッカーなど目印となるものがあるといい。

- ・店舗からの意見として、誰が支援を必要としているかわからないという意見がある。サポートカードとステッカーの両方があるといいという意見があった。

- ・ファミリーマートは「耳マーク」のステッカーがあり、耳マークを指してもらうことでサポートが行えるようにしている。その他「多目的トイレの設置」のステッカーなども表示してある。ステッカーがあることで、事前に支援の有無を知ることができるため、ステッカーの意味を知っている方にとってはわかりやすい。

- ・ローソンにも耳マークのステッカーがあり指をさしてもらうことで「ボードを出してほしい」という合図になる。

- ・デザインを学生に依頼することも一つ。

- ・HP の状況→市内コンビニのほとんどがお買い物サポートカード設置済み。ステッカーの了承を得ている店舗もある。ドラッグストア、スーパーはステッカーの了承を得ていない店舗が多い。

→店舗側に店舗名掲載の依頼文を送り、期日までに返信してもらう。ステッカー設置についての確認も同時に行う

- ・HP に記載がない店舗へ悪い印象を与えかねない。

→HP に載せる前に部会員で文書の共有を行う。

3 成年後見制度勉強会について

- ・資料 2 をもとに進める。

- ・日時：令和 5 年 10 月 6 日（金）18：30～20：00

場所：中央福祉センター多機能室、会場準備 17：00。

- ・支援者向け開催。

- ・椅子のみで 150 名。机を並べる場合には 100 名定員だと余裕がある。

- ・権利擁護の視点、意思決定の視点が重要。

- ・何例か、事例の紹介があるといい。

- ・グループワークをどのように行うか。グループワークの中で各自の事業所の人のお話などもできると繋がりや情報共有の場になるのでは。

- ・グループワークのためのお題を提示してもらえると話し合いがしやすい。グループを作らなくても、近場の人と話し合いをするだけ

	<p>でもいい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 1 時間、ワーク 20～30 分。 ・<u>タイトルは多数決により「成年後見制度を知る～利用者やご家族にお伝えするために～」に決定する。</u> <p>4 虐待防止法勉強会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月24日（日）10時～13時。講義 1 時間 30 分予定。 <p>4 法人主催で虐待防止研修会を行う。部会も合同で開催してはどうかという意見が出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日進市民会館小ホール、テーブル用意してグループワーク行うことを考え 200 名程度を予定している。部会と合同開催の場合は、部会から 50 名程度の参加者となる。 ・1 事業所 2 名程度で絞って募集をかけてもいいのでは。 ・檜の木福祉会、野崎貴詞さんに講師依頼。 ・主催の 4 法人からは 1 万円ずつ出し合い講師料としてお渡しする。部会の予算から出すことも一つ。 ・利用者と深く関わる場面で虐待が起きやすい。相談支援や訪問、通所など支援形態が異なる事業所同士で話し合いができるかどうか。部会として開催した方がいいのでは。 ・入所、訪問、通所、児童など色々な事業所が参加することは伝えている。 ・経験がない人の場合でも、グループワークに参加することにより長時間利用者さんに関わる支援者の苦勞を知ることができ学びにも繋がる。色々な職種と関わるよい機会になるのではないか。 ・多数決の結果、<u>4 法人との合同+部会単独で 2 回開催することになる。</u> ・部会開催は一般向けの予定。時期は例年同様 R6 年 2 月頃を予定。次回講師を検討する。 <p>5 その他</p>
今回確認事項	<p>① 前回の振り返り</p> <p>② お買い物サポートカードについて</p> <p>③ 成年後見制度勉強会について</p> <p>④ 虐待防止法勉強会について</p> <p>⑤ その他</p>

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 2 回	権利擁護部会
日 時	令和 5 年 7 月 19 日 (水) 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 大嶋 翔太	吉澤 洵 (欠)
② 山田 達己	
③ 興梠 精視	
④ 鈴木 万由子	
⑤ 高木 祥行	
⑥ 古田 知子 (欠)	
⑦ 杉浦 文雄	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子 (欠)	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 小倉 懸自
③ 渥美 則親 (欠)	④

(事務局)

① 市川 英子 (欠)	② 日岡 由季枝
③ 山 歩美	④ 桂川 斐斗美

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 3 回	権利擁護部会	
日時	令和 5 年 9 月 20 日 (水) 10 時 30 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 8 名	市職員 1 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 虐待防止法勉強会について		
	③ 成年後見制度勉強会について		
	④ お買い物サポートカードについて		
	⑤ 避難所開設運営訓練について		
主な意見	<p>1 前回の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お買い物サポートカードについて ・成年後見制度勉強会について ・虐待防止法勉強会について ・その他 <p>2 虐待防止法勉強会について</p> <p>① 4 法人での打ち合わせ内容についてご報告いただく。 <u>タイトル「これって虐待？～わたしの支援を振り返る～」</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 月 19 日 (木) 講師野崎さんと打ち合わせを行う。 ・当日 (12 月 24 日) の流れ 9 時～会場準備 10 時開催 13 時終了後片付け。 ・部会員としての役割→カメラ、受付 (1～2 名)、会場準備 (机、椅子)、案内係 (座る場所等)。 ・受付は部会からの参加者と法人からの参加者分けて行う。 ・グループワーク実施予定。机を並べられるかどうかを確認中。難しければ椅子のみ並べて前後左右で話し合う。机の配置が難しけ 		

れば椅子にグループを書く予定。

- ・机が配置できない場合、市からバインダーを借りる。約 150 個。市で確認していただき足りなければ部会、法人は各自で持参する。

② 市民向け

- ・令和 6 年 2 月 29 日（木）午後 13 時半～午後 15 時（予定）。講師は野崎貴詞さんに依頼。午前中から準備を始める予定。

3 成年後見制度勉強会について

- ・事例紹介、グループワークを行いたい旨は講師にお伝え済み。
- ・支援者の中でも制度について知っている方もいればなじみがない方もいるため、支援に繋ぐタイミングについてお話いただきたい。
- ・人数が少ない場合、隣同士で共有できる時間が持てるという。参加者 20～25 名であればグループワークを行う方向となる。
- ・申し込みの人数が少ない場合、部屋を半分にして行うことも検討する。
- ・どのような方、どこの事業所が参加するかにより話し方を変えているため事前に講師にお伝えできるといい。
- ・ヘルピーネットにて周知済み。民生委員にもチラシ配布済み。民生委員木村さんを通して、民生委員の方に周知してもらうことも一つ。
- ・講師資料 〆切 10 月 4 日。

○当日の流れ

- ・17 時～準備を行う。
- ・当日の係りについては別紙参照。
- ・勉強会当日に今後部会で開催予定の勉強会について周知するチラシを配布する。

4 お買い物サポートカードについて

- ・店舗へのアンケートを行う際に、利用状況の確認、ステッカーについてもご意見をいただく。
- ・アンケートの内容について確認する。
アンケート配布時期→約半年経過したため、10 月を目途に配布を行う。10 月 1 日配布、10 月 14 日締め切り。
- ・FAX または Google フォームから回答いただく。
- ・ステッカーを作成する場合、来年度の予算で作成する。
- ・当事者の方に知ってもらう必要があるため、団体へ再度周知を行う。当事者の方からの意見をどのように収集するか。

5 避難所開設運営訓練について

- ・赤池小学校、南小学校で実施。前年度同様、部会としては当事者側（聴覚、視覚、身体、福祉従事者）で参加する。
- ・ワークショップでは、サポートブック、部会としての参加方法について説明を行う。訓練当日に困ったことがあれば質問していただくようにお伝えする。
- ・後日メールにて参加者の確認を行う。次回役割を決める。

今回確認事項	①	前回の振り返り
	②	虐待防止法勉強会について
	③	成年後見制度勉強会について
	④	お買い物サポートカードについて
	⑤	避難所開設運営訓練について

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 3 回	権利擁護部会
日 時	令和 5 年 9 月 20 日 (水) 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 大嶋 翔太	吉澤 洵 (欠)
② 山田 達己	
③ 興梠 精視	
④ 鈴木 万由子	
⑤ 高木 祥行 (欠)	
⑥ 古田 知子	
⑦ 杉浦 文雄	
⑧ 鈴木 重行 (欠)	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子	

(市職員)

① 櫻木 順子 (欠)	② 小倉 懸自
③ 渥美 則親 (欠)	④

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 山 歩美	④ 桂川 斐斗美

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 4 回	権利擁護部会	
日時	令和 5 年 11 月 20 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 6 名	市職員 3 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 自立支援協議会報告		
	③ お買い物サポートカードについて		
	④ 成年後見制度勉強会について		
	⑤ 障害者虐待防止法勉強会について		
	⑥ 避難所開設運営訓練について		
	⑦ その他		
主な意見	1 前回の振り返り ・虐待防止法勉強会について ・成年後見制度勉強会について ・お買い物サポートカードについて ・避難所開設運営訓練について		
	2 自立支援協議会報告 ・10月26日開催の自立支援協議会について、日岡さんからご報告 いただく。		
	3 お買い物サポートカードについて ・資料 2 をもとに店舗へのアンケート結果を確認する。 ・アンケート回収状況 : コンビニ 6 件、ドラッグストア 4 件、スー		

パー0件。スーパーは店長が変わっている店舗がありサポートカード自体を把握されていなかった。

- ・直接お渡ししても回答がない店舗もあり、サポートカードをお渡しした全店舗からはアンケートを回収できていない。

- ・当事者への周知が必要な印象。

- ・現時点での優先事項は、当事者の方に知っていただくこと。

- ・ファミリーマートやローソンは独自で作っているため必要とはされていないと思う。サポートカードを継続して置くことには意味がある。

- ・サポートカードのほとんどがコンビニ寄りの内容。薬局やスーパーから意見がもらえるといい。

- ・持ち歩くには大きくて難しい。勉強会や避難所開設運営訓練で配布して目にしてもらう方法も一つ。

- ・避難所開設訓練でどのように周知を行うか。サポートカードについての説明文は必要。

- ・サポートカードが置いてあるということで意識してもらうきっかけになるといい。配慮が必要な人がいるということを知ってもらうことにもなる。身振り手振りでも対応してもらえるならいい。身振り手振りでも対応が難しい時に活用してもらえるくらいでもいいと思う。

- ・ステッカーが貼ってあっても、意思表示することにハードルがある人がいる。使うハードルを下げるための仕組みとして、コミュニケーションカードを使いたいという意思表示をするためのツールがあるといい。

- ・支援者のためのお買い物サポートカードか、当事者の方のためか。支援者がどのようにサポートをしていいかわからないということも課題だが、どのようなことに当事者が困っているのかわからないことも課題。→当事者が買い物に出かけやすくなるため、支援もサポートカードがあることで、相互理解が生まれるきっかけ作りになるといい。入口は当事者目線からスタートしている。

- ・当事者主体として作ったが、店舗に配布したことで店舗寄りになっている。サポートカードの使用がなくても身振り手振りで対応していることは店舗側の努力。店舗側が必要としていないと考えると置いてもらうこと自体が難しくなる。当事者寄りで進めていく方が進めやすいのではないか。

- ・各事業所には配布済み。放デイのお買い物支援で活用してもらえるといい。知的障害の人の場合には使い方自体がわからない場合もある。

- ・スーパーの掲示物コーナーにサポートカードを置いてもらえると色々な人の目に届き、必要な人は使ってくれるのでは。

- ・置いてもらうだけでは使ってもらえない。使用方法まで伝えないと難しいかもしれない。→マニュアルはお渡ししたが、実践的な方法まで提示する必要があるかもしれない。

- ・ヘルパー事業所での買い物同行の際などに使ってもらおう。事業所でサポートカードを使う練習し、店で実践することも一つ。

	<ul style="list-style-type: none"> ・12月の虐待防止法勉強会で資料として配布する。各事業所で使用してもらい、使用した感想や意見がもらえるといい。 <p>4 成年後見制度勉強会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果（資料3）をもとに振り返りを行う。 ・グループワークは他の人の意見が聞けるため、聴講のみよりよかった。 <p>5 障害者虐待防止法勉強会について</p> <p>【4 法人主催】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月19日に講師と打合せを行う。 ・グループワークでは、4法人から出したテーマを取り上げてもらう。 ・4法人から100名、部会から50名募集をかける。50名分のバインダー貸出は市役所で確認いただく。 ・当日9時集合、準備を行う。 ・参加者→福田さん、鈴木（万）さん、志水さん ・当日役割 カメラ：鈴木（重）さんに確認、受付：志水さん、座席誘導：手が空いている人 <p>【市民向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師に話してほしい内容 ・<u>地域の人で声を掛け合う、通報義務について、日進市の状況について。昨今の状況を事例を含めて話をしていただく。また過去のアンケートより、虐待としつけの線引きについても質問があったため、昨年のアンケートで出た質問を講師に送って内容に入れてもらってもいいかも。</u> ・タイトルについて <u>「これって虐待？～困っている人のサインに気づくには～」</u>に決定。 ・12月末、1月上旬に講師と打合せを行う。2月広報に掲載。 <p>6 避難所開設運営訓練について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月のワークショップでは、サポートブックの説明、部会としての参加方法をお伝えした。 <p>7 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法 3月上旬または中旬で日程調整中。株式会社ミライロから講師派遣をしてもらう予定。
①	前回の振り返り
②	自立支援協議会報告

今回確認事項	③	お買い物サポートカードについて
	④	成年後見制度勉強会について
	⑤	障害者虐待防止法勉強会について
	⑥	避難所開設運営訓練について
	⑦	その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 4 回	権利擁護部会
日 時	令和 5 年 11 月 20 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 大嶋 翔太 (欠)	吉澤 洵 (欠)
② 山田 達己	
③ 興梠 精視	
④ 鈴木 万由子	
⑤ 高木 祥行 (欠)	
⑥ 古田 知子 (欠)	
⑦ 杉浦 文雄 (欠)	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 小倉 懸自
③ 渥美 則親	④

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 山 歩美	④ 桂川 斐斗美

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 5 回	権利擁護部会	
日時	令和 6 年 1 月 15 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 5 名	市職員 3 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="text" value="なし"/>		
報告・検討 の内容	① 前回の振り返り		
	② 自立支援協議会報告		
	③ 避難所開設運営訓練報告		
	④ 障害者虐待防止法勉強会について		
	⑤ お買い物サポートカードについて		
	⑥ その他		
主な意見	1 前回の振り返り ・ 自立支援協議会報告 ・ 虐待防止法勉強会について ・ 成年後見制度勉強会について ・ お買い物サポートカードについて ・ 避難所開設運営訓練について		
	2 自立支援協議会報告 12 月 14 日自立支援協議会本会議について、日岡さんからご報告いただく。		
	3 避難所開設運営訓練報告 ・ 資料 2, 3 をもとに参加報告を行う。部会として参加した感想、意見 (資料 2) は市にお渡しする。 ・ 来年度の参加方法について。器具 (ヘッドホン、アイマスク等)		

- を地域の方にも体験してもらうのはどうかという意見があった。
- ・イヤマフ、アイマスクは約 50 個。ゴーグルは 10 個あるかないか。
 - ・体験は参加した市民の方にしてもらうことがいいか、運営側にしてもらう方がいいのか。どこまで丁寧な説明が必要か、なぜ筆談が必要なのかについて知ってもらうきっかけにはなる。ワークショップで行うか、当日フリーの時間に体験してもらうか。
 - ・体験してもらう場合には、具体的な場面を設定する必要があるのでは。一般の方の体験の場合でも、疑似体験コースは必要だと思う。視覚障害であれば、段差を作る、聴覚障害であればお題を作り正確に伝えられるかなど。伝えづらさ、伝わりづらさなどを体験してもらう。
 - ・障害のある方の立場になって参加することで、不便さや怖さを感じることができる経験にはなった。
 - ・レスキューストックヤードの方からは、今の訓練の状態はいい状態ではないという意見があった。
 - ・以前レスキューストックヤードが行っていたゲームを交えたような参加方法がいいのではないか。障害者も含め、多くの住民が参加してもらえるように開催した方がいい。
 - ・避難所開設運営訓練とは別に福祉避難所に登録している事業所同士で話し合いをする必要はあると思う。どのような流れで開設するか、備蓄がどのように提供されるかについては話が詰められていない。福祉避難所に登録したのみで、その後何もない。
 - ・障害のある方に、福祉避難所があることを知らせていく必要もある。
 - ・市には部会としての意見を伝えていき、こちらの内容を盛り込めるかどうかの確認が必要。市の開催方法によって部会としての参加方法も変わるため、来年度の開催方法を早めにお知らせいただく。

4 障害者虐待防止法勉強会について

【4 法人合同開催】

- ・アンケートをもとに振り返りを行う。
- ・「学んでみたい内容」の項目で意思決定支援についての意見があったため、意思決定支援の研修も取り入れてもいいのでは。
- ・企画の立ち上げやグループワークを通して、事業所間の交流を図れたことは成果だった。

【市民向け 2月29日】

- ・資料 5 をもとに講師との打合せ内容の報告を行う。
- ・全体 90 分を予定していたが、講義が短くなってしまったため 120 分に延長して開催する。
- ・資料 6 をもとに、当日役割分担を行う。
参加者：大嶋さん、興梶さん、山田さん、高木さん、鈴木（重）さん、鈴木（万）さん、志水さん
- ・準備：10 時集合、部会員集合：12 時 45 分

	<p>5 お買い物サポートカードについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2月の虐待防止法勉強会で、説明文を添えて参加者の方に配布・周知を行う。→資料確認を行う時に一緒に説明をする。 <p>6 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者差別解消法講演会 市民会館 令和6年3月15日（金）13：30～15：00 ・講師：株式会社ミライロ うすはさん 2月頭から申し込み開始予定。
今回確認事項	① 前回の振り返り
	② 自立支援協議会報告
	③ 避難所開設運営訓練報告
	④ 障害者虐待防止法勉強会について
	⑤ お買い物サポートカードについて
	⑥ その他

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 5 回	権利擁護部会
日 時	令和 6 年 1 月 15 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 大嶋 翔太	吉澤 洵 (欠)
② 山田 達己	
③ 興梠 精視	
④ 鈴木 万由子 (欠)	
⑤ 高木 祥行	
⑥ 古田 知子 (欠)	
⑦ 杉浦 文雄 (欠)	
⑧ 鈴木 重行 (欠)	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子 (欠)	

(市職員)

① 櫻木 順子	② 小倉 懸自
③ 渥美 則親	④

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 山 歩美	④ 桂川 斐斗美

日進市障害者自立支援協議会 専門部会実施報告書

報告者	桂川 斐斗美	市確認欄	
専門部会名	第 6 回	権利擁護部会	
日時	令和 6 年 3 月 18 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分		
会場	障害者福祉センター 大会議室		
出席者	部会員 9 名	市職員 2 名	事務局 4 名
	※出席者名簿は、別添のとおり		
傍聴者	有り (名 : 別添名簿のとおり) ・ <input type="checkbox"/> なし		
報告・検討 の内容	① 自立支援協議会報告		
	② 前回の振り返り		
	③ 障害者虐待防止法勉強会の振り返り		
	④ 来年度に向けて		
	⑤ その他		
主な意見	<p>1. 自立支援協議会報告 ・3月12日の自立支援協議会について、日岡さんからご報告いただく。</p> <p>2. 前回の振り返り ・自立支援協議会報告 ・避難所開設運営訓練報告 ・障害者虐待防止法勉強会について ・お買い物サポートカードについて</p> <p>3. 障害者虐待防止法勉強会の振り返り ・アンケート結果をもとに振り返り、部会員から感想を伺う。 ・内容としては支援者向けでもよさそうだった。新聞記事などを使っていたことでわかりやすかったという意見が多かった。市民向けだったが、割合としては一般市民の参加者は少なかった。今後、市民向けで開催する時にはどのような方法で開催するか課題になる。 ・支援の中で否定語を使っているため、肯定的な表現にするなど気づきになった。</p>		

・事業者は身近な内容であったためよくわかった。一般向けとなると事業所の様子を知らないため伝わりにくいこともあったと思う。市民向けでは権利擁護の話が必要になるのでは。事例があるのはわかりやすいが、どう権利擁護と結び付けて展開していくか。

・ニュースだけではわからない掘り下げた内容だったことは支援者としてはわかりやすかった。事業所での虐待研修会でも反映させていきたい。支援者にはわかりやすい内容だったが、市民の方がどこまで身近に捉えているか。権利擁護、虐待が身近にあるということを伝えられたらいいと思う。

・権利擁護の視点で考えると意思決定支援が必要になる。特に知的障害がある人は意思を伝えることが難しいため、そのような視点から考えることも一つ。

・市民の方にはどう映ったか。チラシで掲げたテーマと講演内容にギャップがある。内容は重めの虐待の話だった。募集の仕方なども検討が必要。

・対象によってテーマを変える、テーマによって対象を変えることが重要。虐待への意識をどのように持ってもらうか。差別解消法から入ることも一つ。

・市民の方がインプットした後、どうアウトプットしていくか気になる点。学んで終わりではもったいない。

・資料としては支援者向け、市民向けほとんど同じだったが、内容の視点は変えていると感じた。一般の方には声かけの仕方などイメージが付きやすい部分はあるが、障害者虐待の視点になるとイメージが付きにくい部分はある。差別解消法の方が、当事者を含めて関心を持ちやすいと思った。対象とする方に何を一番知ってもらいたいのか、最優先かを考え直せるといい。児童の事業所で虐待研修を行っていたため、センター内でも共有する必要がある。

・前回よりも周知を早めに行ったが、申込が少ない状況は変わらなかったため、申込が少ないことは他に課題があるため検討が必要。

・児童発達支援、放課後等デイサービスで行う事業所交流会で会費を出して研修を行う話が出ている。お金をかけずにみんなが参加できる開催方法を検討できないかと思っている。

・一般市民に向けた時のテーマ、アプローチの方法を検討していく必要がある。来年度行う際に、交流の場を設けるなど。

・アンケートの記述内容について、市民、事業所で分けて書くことで市民の方が捉えた感覚がわかるのでは。

4. 来年度に向けて

・奇数月、第3月曜日、10:30～。月曜日が祝日の場合は同じ週の水曜日開催。

・主な実施内容は「成年後見制度勉強会」、「避難所開設運営訓練」、「虐待防止法勉強会」、「差別解消法勉強会（市主催）」。

・他の事業と一緒に開催することも一つ。

・就労部会では、福祉的就労説明会の中であすライツのブースを設けている。権利擁護ともリンクさせる

	<p>ことはどうか。来年度は6月12日に予定している。あすライツが参加するかは未定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あすライツの研修とも一緒にやっていく方法もあるのでは。 ・あすライツの年間予定:6月に東郷町で一般向けに成年後見セミナー。虐待対応研修会。1回目7月、講師弁護士。2回目10月、アドバイザー上田晴男さんを講師に福祉関係者向けで実施。参加者から質問を募集し答えていく。 ・一般市民に意識を持ってもらう。虐待は難しくても、差別解消から入っていくのはどうか。 ・避難所開設運営訓練は11月10日。相野山小学校、北中学校・竹の山小学校で開催。 ・市民祭りなど一般の人が集まる場で何かできるといいのではという意見が出ている。実際に当事者の方と関わってもらうことで、理解し合えることもあるのではないか。 ・就労説明会はこれから進路決定をする保護者が参加する。権利擁護まで気持ちが追いついていないのが現実。 ・子どもの将来のライフプランを考える流れで、権利擁護を説明した方が入りやすいのでは。 ・就労説明会の流れの中にあすライツの話を入れていない。組み込むと関心を示す方もいるかもしれない。就労説明会で成年後見制度について触れ、7月などに勉強会を開催するとつながりやすいかもしれない。 <p>5. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「投票支援カード」について。選挙管理委員会より情報提供あり。選挙の投票所に持って行くと必要な支援を受けられる。HPには掲載済み。支援者の方からも周知をしてほしいと依頼があったため、各事業所で周知をしてほしい。 ・愛歩 興柁さんより、能登半島地震の状況について写真をもとにご報告いただく。
今回確認事項	<p>① 自立支援協議会報告</p> <p>② 前回の振り返り</p> <p>③ 障害者虐待防止法勉強会の振り返り</p> <p>④ 来年度について</p> <p>⑤ その他</p>

日進市障害者自立支援協議会 専門部会出席者名簿

専門部会名	第 6 回	権利擁護部会
日 時	令和 6 年 3 月 18 日 (月) 10 時 30 分～12 時 00 分	
会 場	障害者福祉センター 大会議室	

専門部会員	その他参加者
① 大嶋 翔太	吉澤 洵 (欠)
② 山田 達己	
③ 興梠 精視	
④ 鈴木 万由子	
⑤ 高木 祥行	
⑥ 古田 知子 (欠)	
⑦ 杉浦 文雄	
⑧ 鈴木 重行	
⑨ 福田 有輝	
⑩ 志水 くに子	

(市職員)

① 櫻木 順子 (欠)	② 小倉 懸自
③ 渥美 則親	④

(事務局)

① 市川 英子	② 日岡 由季枝
③ 山 歩美	④ 桂川 斐斗美